

伐採作業手順説明

2013.7.6(土) ふれあいの森 森づくりイベント

間伐作業体験(間伐4班)

1. 伐採目的

間伐:ある程度成長した樹木の間引き (除伐:目的木種以外の樹木、形質の悪い樹木の間引き)

2. 伐採方法

ボランティア流:手鋸、ロープ、滑車等を使用してチームワークで作業します。(安全最優先)

3. 作業手順

(1)事前準備

①伐木選び、伐倒方向決め

1. 胸高(約 1.2m) 直径 10~20 cmの木を選ぶ
2. 木の重心を確認、掛かり木にならない方向を決める (傾斜面の場合:横又は斜め下方が安全)

②安全確認

- ・ヘルメット、長袖上着、長ズボン、手袋、安全靴
- ・倒木の上方、周囲、前方、足元、退避方向・場所
- ・倒木に絡んでいるツル切り、伐木周辺の下刈り

(2)伐木へのロープ締結、ロープ張り

- ①約 6m の高さの幹にロープを架けて縛りつける
 1. 細紐(スローライン)を重り(ショットバウチ)を使って倒木の枝に掛ける。
 2. 手繰り寄せてロープだけが枝に掛かった状態にする
 3. ロープを引き解き結びにして引き上げ幹に締結する
- ②滑車(スナッチ)を利用して ロープを立ち木経由で張る
:伐倒方向を制御する、引く力を軽減する

(3)切り口の設定

- ①チョークを使い切り口に線引きする(受け口、追い口)
- ②受け口作り:伐倒方向の確実化と伐木の引き裂け防止
 1. 下切り:水平に切る(深さ 1/4~1/3)
 2. 斜め切り:下切りに対して 30~45 度の角度で切る

会合線:下切りと斜め切りの接点合っていること!
(合っていないと支点が移動し想定外の方に倒れる)
- ③ 追い口切り:受け口で決めた方向に木を倒すための前作業
 1. 高さ:受け口高さの 2/3
 2. 深さ:会合線の手前、根株直径 1/10 の幅を残すまで切る。(残した部分が倒す時ツル(弦)になる)

ツル:蝶つがいの働きをする(決めた方向に徐徐に倒す)

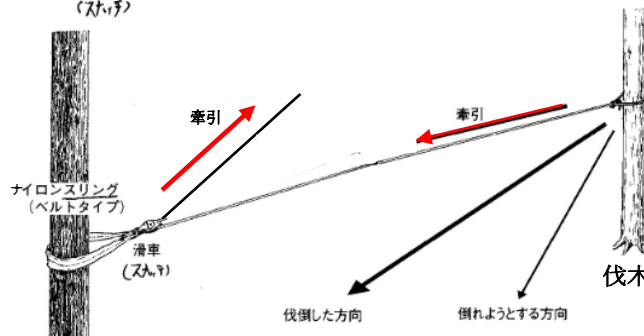
(4)伐倒:木を倒すきっかけ作りはロープの引き手(切り手ではない)

1. 切り手の合図に従い、引き手はロープを引いて木を倒す
2. 倒れ始めたら引きを止め自然に倒れるのにまかせる。
(掛かり木になりかけた場合は腰を落として力一杯引っ張る)

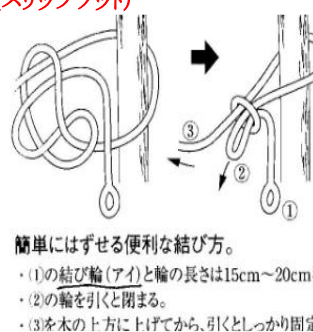
(5)伐倒終了後作業

- ①ロープ等の片づけ ②倒木の枝払い ③玉切り、搬出

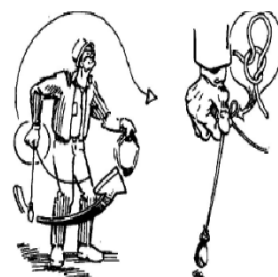
滑車とロープを使った伐倒コントロール
(スナッチ)



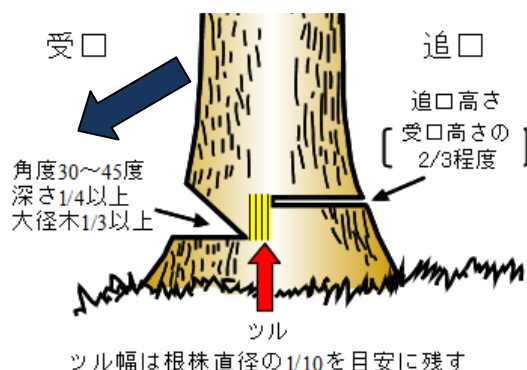
引き解き結び
(スリッポノット)



伐木へのロープ締結



ショットバウチの投げ方事例
(シングルハndsロー)



★ホームページ紹介 : 「[樹木・環境ネットワーク協会](#)」、「[緑の地球クラブ便り](#)」 (yahoo 検索で可)